

平成 28 年度広瀬川アユ遡上調査結果

平成 28 年 6 月 29 日
宮城県水産技術総合センター
内水面水産試験場

宮城県水産技術総合センター内水面水産試験場（内水試）では、アユの遡上状況の情報提供と資源管理のための基礎データを得るため、広瀬川においてアユの遡上状況を毎年調査し、その状況を皆様にお知らせしています。

アユ釣りの解禁が近づいてまいりました。今年度の結果は以下のとおりです。

[調査内容]

- 調査地点（図 1）

調査点 1：名取川との分岐点から 500m 上流（河口から 7.5 km）

調査点 2：愛宕堰付近（河口から 11.5 km）

- 調査日

5 月：上旬～下旬に各 1 回（今年は 10 日，18 日，27 日）

6 月：上旬～下旬に各 1 回（今年は 9 日，15 日，24 日）

- 調査方法（写真 1，写真 2）

各調査点において、それぞれ投網を 10 投打ち、1 投あたりの平均採捕尾数を求めました。採集したアユは、1 調査点あたり 50 尾を目安に内水試に持ち帰り、大きさ（標準体長）を測定しました（図 2）。

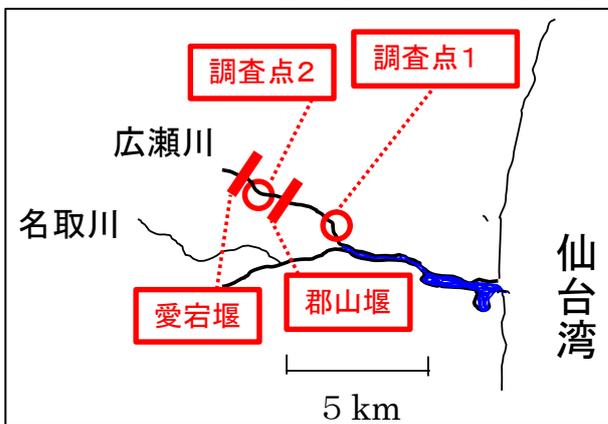


図 1 調査点



写真 1 調査風景（調査点 1）



写真 2 調査風景（調査点 2）

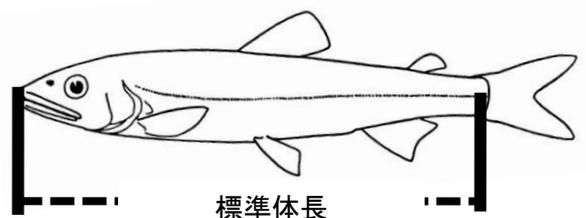


図 2 アユの大きさ（標準体長）

[調査結果]

○1投あたりの平均採捕尾数（調査点1）（図3）

5月では、上旬に9.8尾、中旬に51.1尾、下旬に43.8尾が採捕されました。

6月では、上旬に13.9尾、中旬に10.3尾、下旬に4.2尾が採捕されました。

5月中旬に最も平均採捕尾数が多く、この時期に遡上がピークを迎えたものと考えられました。

○1投あたりの平均採捕尾数（調査点2）（図4）

5月では、上旬に0.2尾、中旬に32.8尾、下旬に39.6尾が採捕されました。

6月では、上旬に6.6尾、中旬に9.9尾、下旬に7.7尾が採捕されました。

5月下旬に最も平均採捕尾数が多く、この時期に遡上がピークを迎えたものと考えられました。調査点1よりもピークが1旬ずれていることから、5月中旬に調査点1にいたアユが遡上してきたものと考えられました。また、この時期には愛宕堰の堰堤に向かって跳躍するアユも確認されました（写真3）。

○解禁前の調査点間での体長差（図5）

解禁日に近い6月下旬での調査点間での標準体長の組成は、調査点1では7.1～8cmの個体が、調査点2では9.1～10cm前後の個体が最も多く確認されました。上流部ほど大型個体が多い傾向がみられ、遡上しながら成長していることが分かりました。

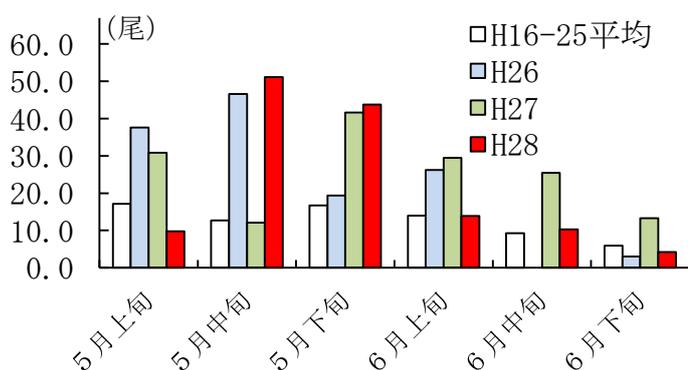


図3 調査点1での投網1投あたりのアユの平均採捕尾数

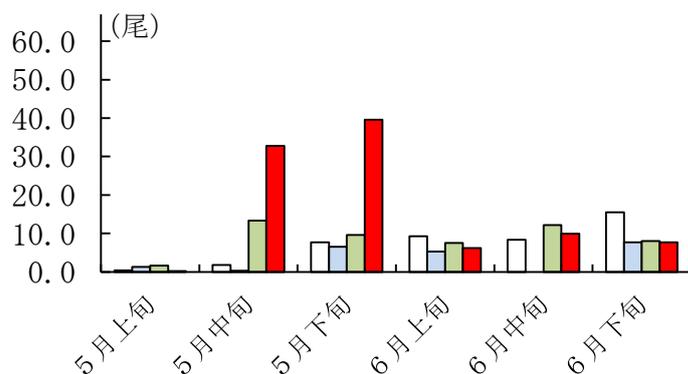


図4 調査点2での投網1投あたりのアユの平均採捕尾数



写真3 調査点2の堰堤に向かって飛び跳ねるアユ（赤丸内、5月下旬撮影）

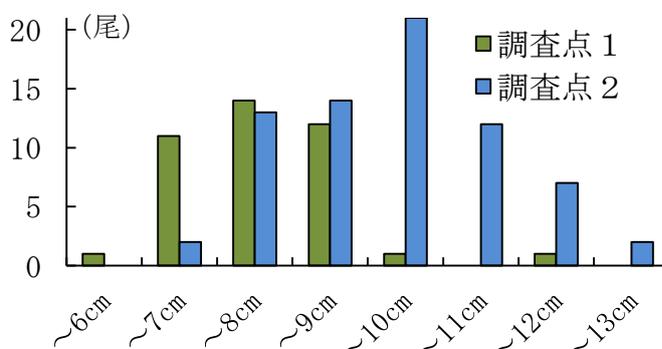


図5 6月下旬に採捕されたアユの標準体長組成